

曾 於 市 Soo CITY 話題の広場 Topics

笠木小学校 水源地遠行



元気よく歩く笠木小の児童たち



お手製の“わらじ”

1月19日、笠木小学校の全校児童30名が水源地遠行を行いました。この行事は「互いを思いやり、体力の増進を図る」ことを目的として始められたもので、今回で36回目になります。

児童たちは、笠木小学校から坂元地区の水源地まで往復約20kmの道のりを約6時間かけて歩きました。なかには手製の“わらじ”を履いて参加する児童もいました。

6年生の持留昂聖^{もちどめこうせい}さんは「毎年、わらじで歩いています。足が痛くて歩きにくいですが、達成感があります」と感想を述べ、元気に歩いていました。

全国保護司連盟理事長賞

法務省が主催する「社会を明るくする運動作文コンテスト」で、中谷小学校6年生、延時^{のぶときゆう}優香さんの「あたたかく見守ろう」が全国保護司連盟理事長賞に選ばれ、その伝達式が1月8日、中谷小学校で行われました。

このコンテストは、犯罪・非行のない地域社会と犯罪・非行をした人の立ち直りをテーマにしたものです。

延時さんは、罪を償って更正した人と周囲の関わりを題材としました。文中では「罪を憎んで、人を憎まず」との言葉を引用して、「きちんと罪を償った人には、ちゃんと居場所を作ってあげるべきです」と、周囲の人々が理解し、受け入れる気持ちの大切さを述べました。



表彰状を伝達される延時さん

曾於市青少年リーダー研修（農業体験）



大きな桜島大根を収穫する研修生

1月12日、曾於市青少年リーダー研修生19名が、農業体験活動の一環として、桜島大根の収穫を行いました。

昨年9月の種蒔きから4か月、その間追肥・除草作業を繰り返し、順調に生育した90株ほどの桜島大根を、研修生は、悪戦苦闘しながら収穫しました。一番重いものは13kgあり、その大きさは、1人でようやく抱えることができるほどでした。

初めての桜島大根栽培でしたが、予想を上回る出来栄に、作業を終えた研修生は、疲れも見せず、みな一様に満足した様子でした。

総合大学講座作品を展示

12月14日から1月10日、県民交流センター1階生涯学習展示サロンを利用して、総合大学で学んだ「木彫り講座」をはじめ、今年度新規講座の「飾り雛講座」など約60点の作品が展示されました。見学に来た方は「どれも作った人の個性が出ていて、特徴のある作品に感動した」「すごくリアルでよかった」と話していました。

今回の出展は、総合大学講師の「講座で学んだ受講生の作品を、是非たくさんの方に見てもらいたい」との思いで実現したものです。作品を通して「学ぶことのすばらしさ」と我がまち「曾於市」のPRもできた内容の展示となりました。



県民交流センターに展示された作品

市内の人権を守るために



伝達を受けた高柳さん（左）と山口さん（右）

1月28日、市長室で人権擁護委員へ感謝状・委嘱状の伝達式が行われました。

法務大臣から財部地区の人権擁護委員として2期勤められた高柳正充^{たかなぎまさみつ}さんに感謝状が贈られ、後任として山口紀志子^{やまぐちきしこ}さん（初）に委嘱状が交付されました。

曾於市には、各地区3人ずつの9人が人権擁護委員として委嘱され、市内で人権侵害等のないよう各種活動が展開されています。

池田市長は「人権問題をはじめ、さまざまな相談などがあると思いますが、曾於市の人権等を守るためにご尽力ください」と話しました。

尚志館高校野球部来庁



市長室を訪問した尚志館高校野球部の方々
右端が鮎川監督、左から2番目が東山さん、左端が西井田コーチ

第85回記念選抜高等学校野球大会に出場する志布志市の尚志館高校野球部（本田校長をはじめ5名の方々）が2月5日、池田市長を表敬訪問しました。

同野球部の鮎川監督は末吉中、西井田コーチは岩川中ひがしやまたかひろの出身です。ベンチ登録選手には曾於市在住の東山貴浩さん（大隅中卒）も入っています。

市長から「甲子園出場は大変な努力の賜物です。誇りを持って頑張ってきてください」との激励を受け、鮎川監督は「甲子園初出場、はつらつとしたプレーをみせたい」と決意を述べました。

大隅半島からは初めての甲子園出場。部員全員が大隅半島出身の“純大隅チーム”の活躍に期待です。

文化財防火デー

1月25日、国登録有形文化財の「そお鹿児島農協財部支所石蔵倉庫」で、文化財防火デーに合わせた消火・避難訓練が行われました。文化財防火デーは、昭和24年1月26日に法隆寺金堂が消失したことを期に制定され、毎年1月26日を中心に全国で訓練等が行われています。

今回は、農協財部支所、大隅曾於地区消防組合財部分署、教育委員会が合同で実施し、避難経路や消火器の使用法等、文化財保護の大切さについて確認しました。

農協財部支所の松下成人さんは「国登録の大切な宝を預かっている。まずは、火災が起きないように気をつけて、しっかりと管理したい」と述べました。



消防組合職員による消火訓練

曾於市観光ボランティアガイドの会



様々なガイド服を着た観光ボランティアガイド会員

曾於市観光特産開発センターは、平成24年度を「曾於市観光元年」と位置付け、様々な観光ツアーを実施しています。このツアー最大の功労者は、曾於市観光ボランティアガイドの会員です。観光客の方々に喜んでもらうと共に曾於市の素晴らしさをPRしています。

この観光ガイドの会の研修会が1月25日に開催されました。研修会ではガイドの仕方やアンケート調査結果等について学ぶと共に、会員同士の交流を図りました。

また、ガイド時の様々な衣装で写真撮影を行い、今後のさらなる観光振興を誓いました。